

科目	応用有機化学II (Applied Organic Chemistry II)		
担当教員	小泉 拓也		
対象学年等	応用化学科・5年・前期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-1(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	現在までの我が国における有機工業化学を，歴史，合成法，製品の用途について各論的に述べる。特に合成法については，有機化学の基礎理論の理解度を確かめながら講義を進める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-1】石炭化学工業の歴史，製法の用途が理解できる。石油化学工業の歴史，原油の精製法が理解できる。石油化学製品の合成法が反応式で記述できる。		石炭化学工業の歴史，製法の用途，石油化学工業の歴史，原油の精製法，石油化学製品の合成法が化学式，文章を用い説明できるかを中間試験およびレポートで評価する。
2	【A-4-1】染料，医薬品，農薬，香料の構造と命名および合成法(反応式)が記述できる。		染料，医薬品，農薬，香料の構造と命名が記述できるか，およびそれらの合成法を反応式で記述できるかを定期試験およびレポートで評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は，試験80%，レポート20%として評価する。なお，試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「有機工業化学 第6版」阿河利男・小川雅弥 他著 (朝倉書店)		
参考書	「基礎有機化学」成田 吉徳訳 (化学同人)		
関連科目	C2 有機化学Ⅰ，C3 有機化学Ⅱ，C4 有機合成化学，C4 応用有機化学Ⅰ		
履修上の注意事項	上記科目を十分学習し，理解しておくことが望ましい。		

